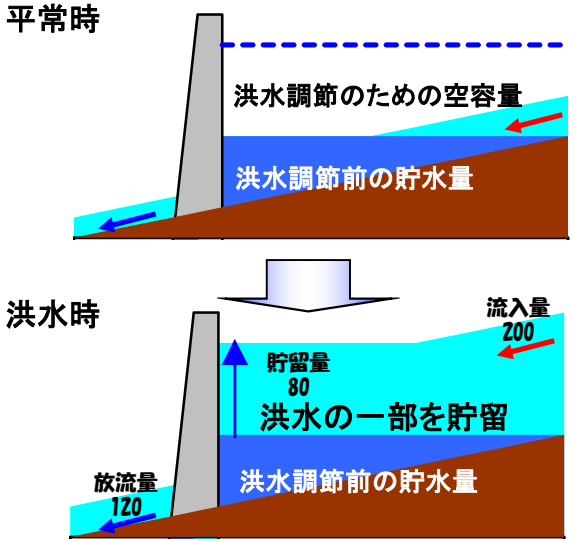
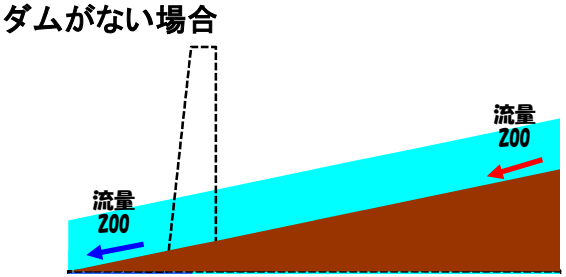
皆瀬ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

ダムの洪水調節機能(イメージ)



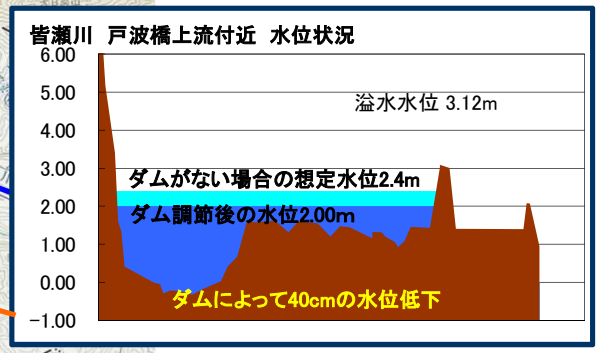
洪水時に、例えば200流れている水のうち80をダムに貯め
ダム下流には120だけ流します。

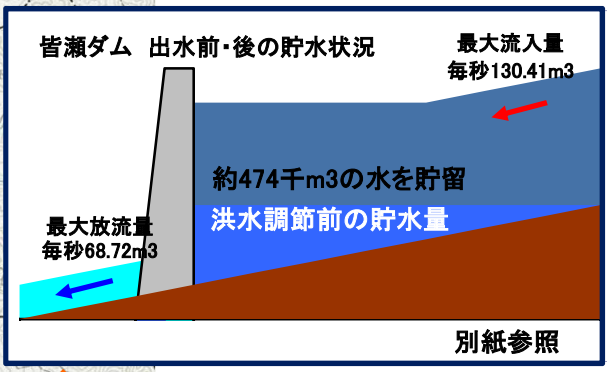


流れている200の水は、そのまま下流に流れていきます。

このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は60%になり、洪水被害を軽減します。

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。





皆瀬ダムでは、7月27日から28日にかけての梅雨前線による出水のため洪水調節を行いました。約474千m3の洪水をダムに貯留し、ダム下流の皆瀬川に流れる水量を少なくしました。

皆瀬ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）　別紙

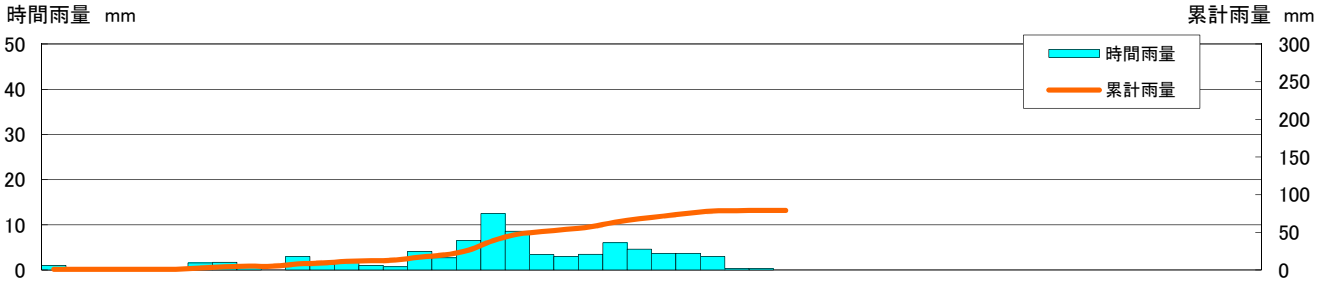
※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

概　況

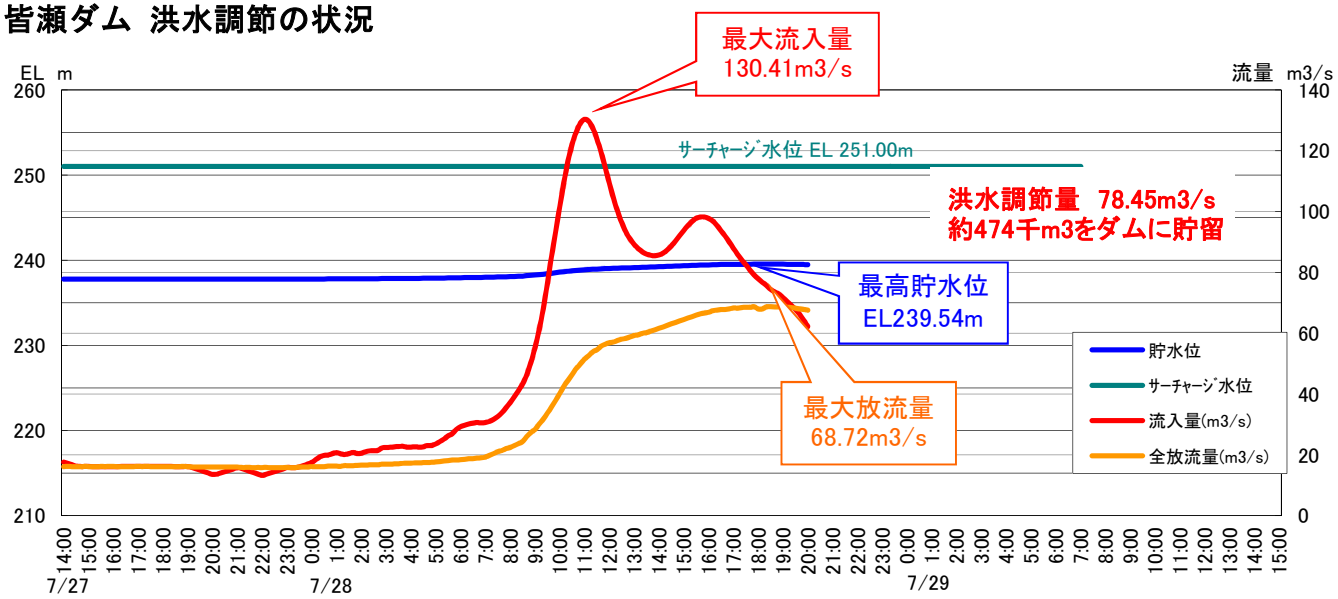
皆瀬ダムでは梅雨前線による出水のため洪水調節を行いました。

降雨の状況は、最大時間雨量12.5mm、累計雨量は79.1mmとなり、皆瀬ダムにおける最大流入量は130.41m3/sまで上昇しました。洪水調節の結果、洪水調節量として78.45m3/s、約474千m3の水をダムに貯留し、皆瀬川 戸波橋付近では40cm、河川水位を下げることができました。

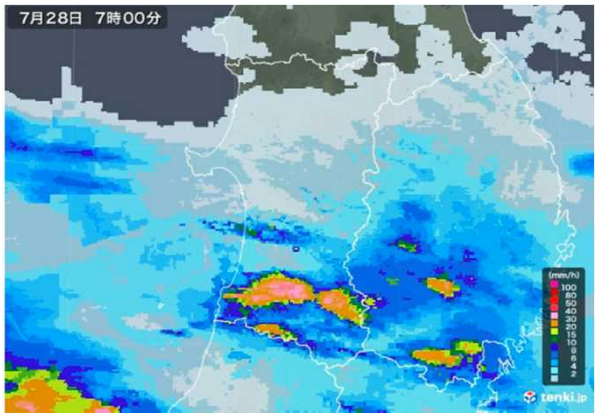
降雨の状況（皆瀬ダム流域平均雨量）



皆瀬ダム 洪水調節の状況



気象レーダ（7月28日 7時00分）



皆瀬ダム諸元

河　川　名	雄物川水系　皆瀬川
形　　式	表面遮水壁型ロックフィルダム
堤　　高	66．5m
堤　　長	215．0m
堤　体　積	575,000m3
集　水　面　積	172km2
湛　水　面　積	1．5km2
有効貯水量	2630万m3
サーチャージ水位	EL．251．00m
洪　水　流　量	100m3/s
竣　工　年　度	昭和38年